

あつべつとしょかんだより



携帯電話



スマートフォン

携帯・スマホからも蔵書検索・予約・休館日確認ができます。

2019年6月号

発行：札幌市厚別図書館 ☎894-1590
〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央 1-5-3-15

今月の行事

絵本専門士が あなたにおすすめする絵本

6月13日(木)～7月23日(火)

厚別図書館の絵本専門士がおすすめする大人にも読んでほしい絵本を展示します。
どうぞ手に取って読んでみてください！
厚別図書館 1階図書室

読み聞かせボランティア「てぶくろ」さんによる

てぶくろまつり

『手づくりの大きな紙芝居』や『パネルシアター』などの楽しい催し物を用意して、皆さんを待っています！

6月22日(土) 14:00～15:00(開場:13:30)

厚別図書館2階 読書集会室にて

6がつカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1 お話会
2	3	4 ★	5 ★	6 ★	7	8 お話会
9	10	11 ★	12 休館日	13 ★	14	15 お話会
16 🎉の日	17	18 ★	19 ★	20 ★	21	22 てぶくろまつり
23	24	25 ★	26 休館日	27 ★	28	29
30						

ボランティア「てぶくろ」さんによる

たのしいお話会

6月 1日(土)

8日(土)

15日(土)

ごご2じから

1かいおはなししつにて

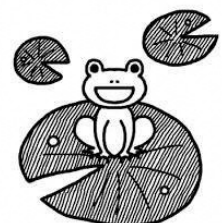
ぜひ気軽にご参加ください♪

図書館の本はみなさんで読む本です。
本の持ち運びの際は、
雨などに濡れないように
ビニール袋に入れる等工夫し、
濡らさないようお願いいたします。

開館時間：金～月・祝日…午前9時15分から午後5時まで

火・水・木…午前9時15分から午後7時まで(★マークの日です)

はおやすみです。





こどものほん

炎をきいさく風になって

ポストンマラソンをはじめて走った女性ランナー

フランシス・ボレット/作 【J フ】

1966年ボビーは女性で初めてポストンマラソンを走りました。女がマラソンなんて走れないという時代です。でも、走るのがボビーは大好き。誰に何を言われても好きなことをする。そして結果を出したボビーは素敵。そんな生き方にあこがれる方もいるのではないのでしょうか。ボビーは今でも走っているそうです。

10代のための疲れた心がラクになる本

～「敏感すぎる」「傷つきやすい」自分を好きになる方法～

長沼 睦雄/著 【146 ナ】

帯広でクリニックを開いている長沼先生は「超敏感気質」に関する第一人者でもあります。どの社会にも10～20%の割合で存在する「超敏感気質」の人。生きづらさや周りとは違う自分に戸惑って生きている方が多い。自分は「超敏感気質」なんだとまず知ること。そしてどう対処して上手く共存していけば良いのかが書かれています。特に十代はまだまだ発達途中。周りの大人が知って教えるということも大事だと思います。

一般の本

死んでも床にモノを置かない

須藤 雅子/著 【597 ス】

このインパクトのあるタイトル、厳しいことが書いてあるのかと思ったが、なかなかシンプルで理にかなった内容だと思う。「絶対にこれはやらない」というルールを決める。それだけだそう。何をやらないのか、どうしたらやらなくていいのか、具体的な提案が載っています。全て実行するのは無理でも、納得できるものだけやってみよう。まずは「片付けが苦手」という思い込みを捨てることから始めても良いかもしれません。

ぼくたちに、もうモノは必要ない。

佐々木 典士/著 【159 サ】

最近ミニマリストという言葉をよく聞くようになった。「自分に必要なモノがわかっている人」「大事なもののために減らす人」だと筆者は言う。何が必要か、何を大事にするかは住む環境や家族構成によって違う。ただモノを減らすのがミニマリストではないのだ。そして手放すのは「技術」だそう。その方法が書かれているので、できることからやっても良いかもしれない。ミニマリストはどう生きるかということなのであろう。

厚別図書館には
「絵本専門士」がいます！

絵本に関する高度な知識、技能及び感性を備えた
絵本の専門家で、現在北海道には6名

(うち札幌には2名)しかいない貴重な存在
です(H30現在)

絵本の選び方や読み聞かせ方等で悩んでいる方、
ぜひ絵本専門士をお尋ねください♪



えほんせんもんし 絵本専門士おすすめのための絵本

ぼくのきもちはね

コリ・ドーフェルド/作 【J ボ】

字は少なく一見小さい人向けの絵本かなと思ったら、深い！深い内容です。悲しいとき、落ち込んだりしたらあなたはどのように欲しいですか？「人と寄り添うとは？」という深いテーマ。きっと一人一人違うのかも知れません。難しいかもしれないけど大事な人のために何かできることはあるはず。そして、自分が落ちこんだ時、寄り添ってくれる人がいるといいなと思います。